

やましんかわら版は
山新販売店と読者をつなぐ
ミニコミ誌です

NEW

やましんかわら版

今月もプレゼントや特典がいっぱいです。このマークをお見逃しなく!

発行部数 9万7,000部

毎月5日発行

新聞休刊日のため6月15日(月)付朝刊はお休みさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

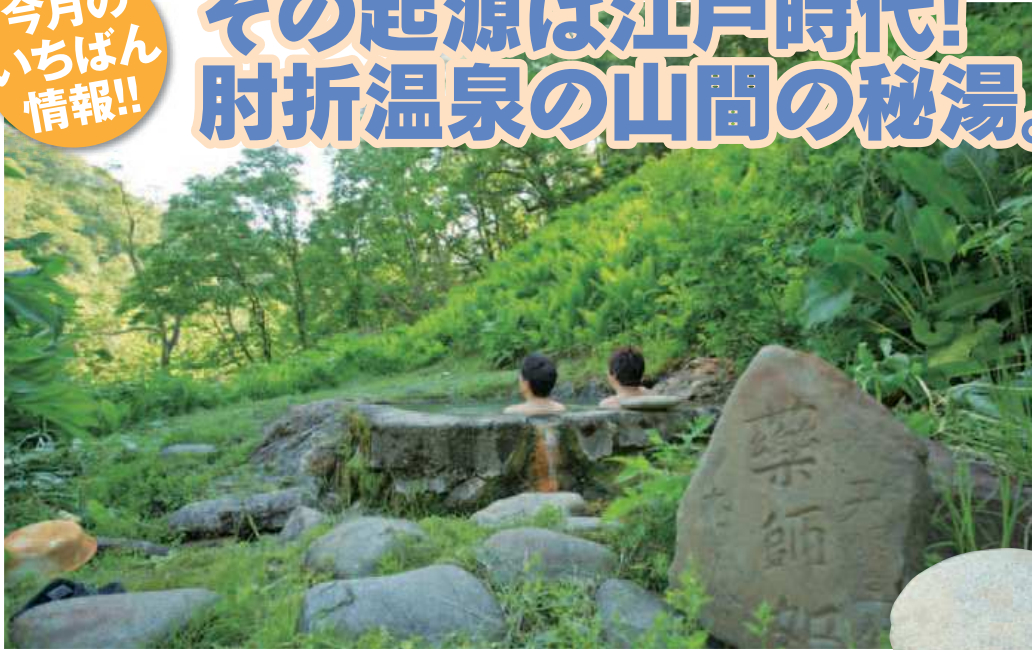


かわら版編集部

〒990-2323 山形市桜田東二丁目3-8-7
《ホームページ》http://www.yamashinhanbai.jp/
《メール》kawaraban@yamashinhanbai.jp
読者お問い合わせ窓口
TEL.023-635-6111 (山新販売内)

今月の
いちばん
情報!!

その起源は江戸時代! 肘折温泉の山間の秘湯。



▼この平べったい石が抱石です。

湯船以外には何も無い、大自然に囲まれた露天風呂で、ゆっくりと過ごしてみませんか?

肘折温泉から山間に2キロ。深谷に囲まれたところにある場所に、突如姿をあらわす幻の露天風呂があります。その名も「石抱温泉」。炭酸成分を多く含み、やや温度は低めですが、温まりの湯として知られているようです。今月はこの秘湯こと「石抱温泉」を管理する、旅館「あびす屋」の主人 柿崎泉さんに、その由来や歴史などについて話していただきました。

Q、石抱温泉は、いつ頃からあるのですか?

▶肘折には古くより「肘折三十七人衆」という温泉の権利者を示す言葉が伝わっています。その中に「肘折八人衆」と呼ばれていた旦那衆がいたのですが、江戸後期の頃に彼らが集まり宿を建て、共同経営をはじめたのが石抱温泉の起源だと伝わっています。しかし、冬にもなれば積雪が5mを超すという山間の環境は、経営にも、また建物自体の維持にも不向きだったようで、明治に入って間もなくして八人衆は石抱温泉を手放し、経緯は不明ですが私の先祖が引き取ったようです。このあたりのことは過去2回肘折を襲った大火のせいで文献が焼失し、歴史的な経緯について誰も正確に把握できていないのです。しかし、その後建物は雪により壊れましたが、しばらくして私の父の代から残った湯船の管理を再開。宿泊客の方が希望されたときだけ清掃しきれいにしてい

ますが、野放しにしていた期間は藪の中の野湯として入りにきた方も多かったのではないのでしょうか。最近でも、清掃していない時期に断りもなく入浴したのに、「掃除がなっていない」なんて言われることがありますから(笑)。

Q、「石抱」という、名前の由来について。

▶実は三つの説があるのです。一つ目は、よくインターネットなどで書かれているものですが、泉質が炭酸泉ゆえに、石を抱かないと体が浮いてしまい、ゆっくり浸れないからというもの。また、二つ目は、お湯の温度が37~38度と低いため、陽の光で石を温め、それを抱いて入浴したという説。そして三つ目ですが、石抱温泉の対岸には崖があるのですが、春先になり雪解け水が増すと短い期間だけ滝が現れるのです。勢いよく落ちるその滝は、石をも砕く滝という意味で「石砕の滝」と呼ばれたそうで、字こそ違うのですが、そこから名前がついたという説です。滝は実際に存在しますし、どれもある程度の信憑性がありますが、私としては二番目の説が有力かと感じています。実際に石を抱いて入浴してみたところ、とても気持ち良かったですからね。ところで、お湯の温度は低めですが、炭酸の効果で毛細血管が広がって湯冷めはしません。また、硫酸イオンが多く含まれているので火傷や切傷にも効果があるとされています。これからの気温の高い季節は、読

書でもしながらゆっくりと入浴されるのがおすすめですよ。

Q、心も体もリフレッシュできますね。

▶はい。肘折温泉全体にそんなお湯が満ちています。だからこそ古くから湯治場として栄え、時代は変わりましたが今でも湯治目的で連泊し、体を癒やされるお客さまは多いです。朝市で買った食材で自炊し、お湯に浸かる。「七日一回り」という言葉があるほど、お湯本来の良さは長期滞在しなければわかりませんし、連泊しお湯を満喫することこそが肘折に伝わる温泉文化なのです。これからは多くの方に、肘折に残る豊かな自然と湯治文化、そして肥沃な大地で育った山菜などの食文化を味わってほしいですね。

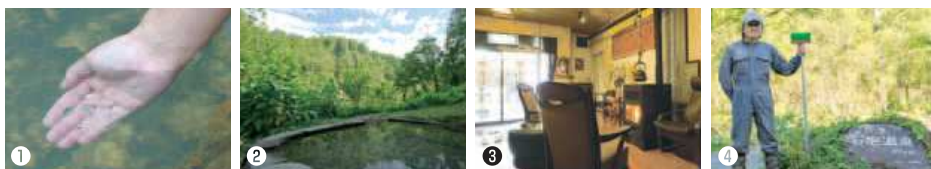
一山間の秘湯はもちろんですが、湯治という文化も本当に魅力的です! みなさんもぜひ肘折温泉で、心と体をリフレッシュしてみたいですね。

肘折温泉旅館【あびす屋】

大蔵村大字南山526 TEL.0233-76-2008

■石抱温泉の泉質

ナトリウム炭酸水素塩、硫酸塩、塩化物温泉



- ①湯船の底からは、炭酸の泡が湧き出します。
- ②お風呂の対岸に見える光景は、息を飲む自然美。
- ③あびす屋は、山菜をふんだんに使ったお料理と、良質なお湯が味わえると評判の旅館です。
- ④石抱温泉を管理する旅館あびす屋のご主人 柿崎泉さん。

山形新聞電子版
イーブン
やましん e 聞

お届けする“やましんE聞”には
こんな魅力も…スマホ、
タブレット、パソコンでどうぞ。

山形新聞ご購入者だけの
無料デジタルサービスです。
※法人、団体契約は除く

いつでもどこでも
閲覧できます

毎朝5時に
紙面配信

文字の拡大も
思いのまま

30日間
過去30日間の紙面が
確認できます!

緊急時の情報収集にも
役立ちます!

お申し込みは
やましんイーブン 検索

ご不明の際は 山形新聞社販売局
☎0120-81-8040(9:30~17:30)
山形市旅籠町2-5-12 山形メディアタワー